

三重県の川上ダム関連事業費についての調査結果

※平成17年10月6日三重県企業庁水道事業室から千代延委員が聴取した内容を整理。

1. 伊賀水道用水供給事業における計画1日最大給水量の変更

48,500m³→28,750m³ (約40%減)

2. 変更に伴う事業費(水源を含む)の変更

(1)当初計画の総事業費(水源を含む): 470億円。

・内訳

①専用施設費 361億円

②水源費負担 95億円 (※)

③水源地域整備費負担 14億円

(2)計画給水量見直し後の総事業費(水源を含む): 374億2,700万円

・内訳

①専用施設費 267億2,700万円

②水源費負担 95億円 (※)

③水源地域整備費負担 12億円

註. 水源施設については、ダム事業費及び負担額が現段階において示されていないことから、水源費負担額については、当初計画時、変更計画時とも95億円としている。(※)

3. ダム建設に係る負担金95億円の内訳

850億円×0.157=134億円

・内訳

・国庫補助金 67億円

・水資源機構債 67億円

・建設中利息 28億円

(合計) 95億円 (※)

4. 伊賀水道の川上ダムから供給される原水1m³あたりのコスト

三重県が平成10年3月に策定した西部広域圏広域的水道整備計画において、伊賀水道用水供給事業の給水原価は411円/m³(供用当初5年)と試算されている。

註1. 西部広域圏広域的水道整備計画は、対象とする旧上野市等6市町村及び名張市の同意を得たもの。

註2. 川上ダムの事業計画の見直しに伴う水価については、ダムの事業費及び負担額等が示されていないことから試算はできていない。

5. 伊賀水道の原水コストに関する伊賀水道事業者の了承について

国土交通省から川上ダムの事業計画の見直しに伴う事業費及び負担額が示された場合、速やかに伊賀水道用水供給事業の水価を試算し、伊賀市と協議を行う予定。

以上